

平成13年の主な事故事例（死者1名以上、負傷者2名以上若しくは損害見積額1,000万円以上）

火災・爆発

発生日	都道府県	施設区分	死傷者及び損害見積額	概要・原因・被害状況
1月	大阪府	無許可施設	死者 3名 負傷者 0名 4,140万円	金属製品塗装業で金属板を粉体及び塗装ブースで塗装中、一旦休憩し、再び作業を開始して直ぐに火災になったもの。この火災で、階段降り口付近で従業員3名が死亡した。原因は不明である。
1月	愛媛県	一般取扱所（洗浄）	死者 0名 負傷者 0名 1,031万円	電気製品の部品を炭化水素洗浄機で洗浄中、洗浄機の調整を操作マニュアルと違う設定に変更していたため、酸素が供給され洗浄槽から発生していた蒸気が燃焼範囲に達していたため、蓄積していた静電気が放電し、引火、爆発したもの。
1月	広島県	給油取扱所（屋外）	死者 1名 負傷者 0名 88万円	普通乗用車がキャノピーの支柱に衝突し、当該車両から出火しキャノピー99平方メートルを焼損したもの。この事故により、衝突した車両の運転手が事故により閉じ込められた状態で死亡した。
2月	山形県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 1,129万円	鉄骨6階建ての脂肪酸工場のうち、3～6階部分及び脱臭塔において、第4類動植物油類4,000リットル焼損。脱臭塔内部に飛散した油カス（ヨウ素価130）が塔内部の真空解除により酸素が供給され、更に脱臭塔のふた6か所を開放したことにより酸化が促進され、この反応で酸化熱が蓄積され発火点に達し自然発火したものと推定される。
2月	東京都	地下タンク貯蔵所	死者 0名 負傷者 1名 3,291万円	木造2階建て作業所併用事務所の1階部分から出火し、延べ133平方メートルが全焼し、隣接する建物5棟を焼損したものである。この火災により地下タンク貯蔵所の露出配管の塗装がはがれ落ちた。原因は、乾燥機の上にある送風用三相モーターがモーター内の巻線間で層間短絡を起こし、付着していた綿糸のほこりに着火し出火したもの。
3月	大分県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 1名 1,385万円	ビデオテープ製造中に、トルエンをステンレス容器に注入した際、静電気用アースの取り付けを怠ったため、発生した静電気により、注入ホースのノズル付近で容器内のトルエンに引火、容器内の危険物及び周囲の機器を焼損したもの。なお、この火災によって当該従業員が手に火傷を負った。
3月	福島県	無許可施設	死者 3名 負傷者 1名 208万円	木造モルタル造2階建ての1階事務所内の石油ストーブから出火、吹き上げ、救助中の男性1名が転落負傷、更に2階通路において母子3名が焼死体で発見された。出火原因については、ポリ容器に入っていたガソリンを灯油と勘違いして、石油ストーブに補給したためと推定される。火災後の調査で、1階倉庫からシンナー等多量の危険物が無許可貯蔵されていることが判明した。
3月	大阪府	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 6,723万円	一般取扱所の塗装ブースの自動ブース部分からの出火であり、事故当時はロボットは故障に伴う確認運転中であり、塗装作業は中止していた。ロボットから生じた静電気が、傍らに置いてあった洗浄用シンナー容器に帯電し、人体、他何らかのアース体との接触によりスパークし、洗浄用シンナー容器のペーパーに引火したもので、自動ブース内の床、内壁、塗装ロボット等収容物及びダクトの一部を焼損した。
3月	兵庫県	危険物運搬中	死者 0名 負傷者 0名 1,400万円	軽貨物車の荷台にガソリン入りプラスチック容器（容量20リットル）2缶及びガソリン入鋼製容器（20リットル容量）2缶（計80リットル）を積載し、配達をしていたところ、配達先に到着した際に荷台上のプラスチック容器が転倒し、漏えいしたガソリンが静電気スパークにより引火し、軽貨物車及び付近倉庫の一部を焼損したものの。

3月	広島県	一般取扱所 (吹付塗装等)	死者 0名 負傷者 0名 1,265万円	仕上塗装工程内において、エアー静電塗装機により、自動塗装を行っていたところ、配管継手から塗料が漏れ、絶縁部分に塗料が付着した。さらに絶縁不良が起きたため、静電スパークが発生し、第1石油類の塗料に引火し、火災に至ったもの。
4月	栃木県	一般取扱所 (焼入等)	死者 0名 負傷者 0名 1,800万円	水焼入処理後、熱交換器用の冷却水は常時流して排水槽に入り水中ポンプで排水処理をしていた。何らかの原因でポンプが停止し、排水槽の水が溢れて床面を流れ出し焼入槽に入った。さらに油槽へ水が流入したため、各槽の液面が上昇し加熱炉焼入品投入ダンパー(800度)に接触したため、着火したものと推定される。
4月	東京都	一般取扱所 (油圧装置等)	死者 0名 負傷者 0名 1,908万円	産業廃棄物(鉄くず、廃棄プラスチック、紙等)中間処理業を営む一般取扱所内(建物全体で規制)に、夜間無人となつてから何者かが侵入して集積してあった紙、ビニール等に放火したため、産業廃棄物及び一般取扱所が焼損したものである。なお、危険物への着火は認められない。
4月	埼玉県	一般取扱所 (消費)	死者 0名 負傷者 0名 1,465万円	乾燥炉(一般取扱所)の脱湿装置(生物製剤研究で発生する廃卵及び洗浄水を乾燥する設備)において、乾燥物投入量と熱源の調整不良による過熱により乾燥物に着火したものの。この火災により乾燥炉及び建物を焼損した。
4月	大阪府	一般取扱所 (吹付塗装)	死者 0名 負傷者 1名 6,697万円	塗装工場において、静電塗装ラインにおいて、静電塗装機の静電気が塗料に引火し、施設部分が焼損したものの。この火災で、従業員が火煙を吸って負傷した。
5月	千葉県	製造所	死者 0名 負傷者 1名 2,860万円	印刷インキ製造機械周辺のインキ汚れを落とすため、酢酸エチルをプラスチック容器に小分けし、汚れた部分に少量垂らし金属ヘラで除去していた。このヘラに付いたインキ滓を溶かすために、プラスチック容器にヘラを入れて、酢酸エチルの小出し取り出し口下部へ持っていき、バルブ1・バルブ2の順に開け酢酸エチルをプラスチック容器に注入した瞬間に出火したものの。
5月	千葉県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 1名 1,118万円	濃縮水溶液をドラム缶に移し替えた際、乾燥機内に空気が供給され、この空気と乾燥機内に残っていた水溶液から発生した可燃性蒸気が、燃焼範囲内の混合気を形成していたもの。一度処理した廃水溶液を再度受入ビットに投入し、濃度の高い原料を再度乾燥機で濃縮したことにより、再濃縮しない物質に比較して可燃性蒸気の発生が多くなり、何らかの火源により発生したものの。
5月	愛知県	製造所	死者 0名 負傷者 0名 1,000万円	焙煎ごまを搾油機で搾る工程で、残存していた粕が発火し、拡大延焼、搾油機、モーター及び電気設備が延焼したものの。ごま油製造所において、焙煎ごまの圧搾過程の搾油機に付着残存した粕が、自然発火したものと推定される。
6月	神奈川県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 1名 13,848万円	排煙脱硫装置で冷却操作中に、装置内の温度が上昇し、緊急冷却用散水設備が自動起動した。散水を継続すると脱硫塔底部の水酸化ナトリウム水溶液がオーバーフローするおそれがあるため、手動操作に切り替えて散水量を調整したところ、脱硫塔先の煙突から黒煙が上昇し、散水を全開にしたが火災に至ったものの。

6月	滋賀県	一般取扱所 (焼入等)	死者 0名 負傷者 0名 2,712万円	焼却灰を溶融するためのプラズマ電源を発生する装置において、総合制御盤内部にて火災が発生し、制御盤ボックスが破損したものの。スイッチの開閉状態を確認せずに通電したため本来流れないはずの電流が、カップリングコイルに長時間流れ、コイル温度が異状に上昇し、過熱され、爆発、火災に至ったもの。
7月	愛知県	製造所	死者 0名 負傷者 1名 1,931万円	閉鎖し無人状態となった製造所に、何かが侵入し、調色容器の洗い場にてシンナーをペットボトルに移し替えていたところ、誤ってシンナー等に引火させたもの。
7月	和歌山県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 4,284万円	医薬品の中間体製造工程中において、最終工程の蒸留作業終了後、蒸留釜から残渣物を回収容器に抜き出し中、蒸留釜下部付近から火災が発生し、工場121平方メートルを焼損したものの。可燃性蒸気が低所に滞留し、無許可で設置していた非防爆型コンプレッサーの電気火花によって引火したものと推定される。
7月	岐阜県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 1,542万円	調査実験のため、有機溶剤調合容器(ステンレス)にメチルエチルケトン14.6キログラム投入し、トルエン約5キログラムを追加投入した際、溶剤液面において発火した。有機溶剤調合容器にトルエンを追加投入した際、静電気が発生し発火したものの。
7月	茨城県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 1名 1,550円	スクラップ(鉄屑)を電気炉にて溶解し、溶鋼を精錬する作業中に、電気炉で水蒸気爆発が発生し、従業員1名が火傷を負い、電気炉と操作室等に被害が出たもの。溶解中にタップカバーがずれて電気炉内に落下し、溶鋼に浸漬した部分が溶けて内部の冷却クーラーの水が溶鋼内に入ったことにより水蒸気爆発を起こしたものの。
8月	栃木県	製造所	死者 0名 負傷者 0名 2,154万円	有機過酸化含有物を恒温恒湿室内で20度に設定し保管していたが、何らかの原因により爆発、出火に至り、製造所の一部を焼損した。恒温恒湿室内に収納する際に、室内の空調のための空気吸い込み口付近に当該物質を積んで保管していたこと、雷注意報が発令されており、工場周辺での電圧の低下が4回確認されていることなどから、恒温恒湿室内の空気循環不良、あるいは雷、若しくはその他の原因により恒温恒湿室の機能停止により室内の温度が上昇し、発火、爆発に至ったものと推定される。
9月	静岡県	一般取扱所 (消費)	死者 0名 負傷者 2名 1,051万円	グラビア印刷機において、危険物第4類第1石油類を空気中に暴露した状態で取り扱っており、このため静電気除去・防爆設備・排出設備等対策は施してあったが管理不十分により、何らかの原因で静電気が発生し、ゴムローラー近傍からの静電気の火花が可燃性蒸気に着火し火災に至ったものと推定される。
9月	香川県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 3,690万円	試験運転中、電解槽の電流を徐々に上げていき2000アンペアとした。その後3000アンペアに上げようとしたところ、水洗塔、脱水塔及びその付近の配管部分で爆発した。電解槽で発生させた電解ガスが配管を通り、水洗塔及び脱水塔に至る過程のどこかで水素ガスが何らかの原因で爆発したものの。
9月	埼玉県	製造所	死者 0名 負傷者 0名 2,038万円	原料工場内の粉碎設備で、金属珪素の塊状品を粉体へ粉碎する施設で、夜間無人で24時間自動運転を行っていた。内部の水平移動部分にバケットガイド(鉄製の棒)があり、この部位でバケットが帯電し、静電気によりバケット内の珪素(粉末)に着火し、粉塵爆発が発生したものの。

10月	和歌山県	無許可施設	死者 0名 負傷者 0名 4,890万円	鉄骨2階建て、建築面積339平方メートル、延べ面積586平方メートルの作業場兼住宅建物の1階から出火し、同建物が全焼した。また、作業所内には指定数量以上の危険物第4類第1石油類（シンナー・インキ）が無許可で貯蔵されていたものである。
10月	東京都	一般取扱所	死者 0名 負傷者 1名 1,200万円	電池の設置工事中、電池の各モジュールを専用リード線に接続する作業において、リード線を接続しようとしたところ、事前工事の誤結線により直流電源正極と負極の短絡によりアーク（火花）が発生し、モジュール1個の負極端子部分より出火したものである。本火災によりリード線接続作業員が、両手、右前腕、顔面に火傷を負った。
11月	滋賀県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 14,000万円	農業用資材工場で、1階のフィルム圧延機エンボス工程部分から火災が発生。フィルム加熱用エレマー工程において、ライン上のフィルムがエレマーに落下若しくは附着し発火、直近の塩ビフィルムに延焼拡大し発災したものと推定される。
12月	愛知県	一般取扱所（焼入等）	死者 0名 負傷者 0名 2,000万円	定常運転中のボルトの焼入れ・焼戻し工程において、焼戻し炉と焼戻し油槽の間から出火した。焼戻し炉から焼戻し槽に製品を送る際、製品が焼戻し油に入る前に、防音のため硬質ゴムに当たる構造であった。常時安易に確認できる構造ではなく、機械設置後15年経過していたため、ゴムが炭化し発火しやすい状況にあったと思われる。
12月	大阪府	一般取扱所	死者 0名 負傷者 1名 2,000万円	排水システム鋳物鋳造ラインのショットブラスト装置内にASジョイント鋳物を入れて間もなく、装置内の2室目で火災があがっているを確認した。通常では当該鋳物が鋳造ラインより排出されて常温（約40度）になるまで4、5時間冷却してから装置内に入れるのであるが火災発生時はあまり間をおかずに装置内に入れたとのことで鋳物が装置内の耐摩ゴムに接触し着火、火災に至ったものと推測される。
12月	大阪府	無許可施設	死者 0名 負傷者 0名 2,709万円	移動タンク貯蔵所にて搬入したA重油を貯蔵タンクを介しオープン槽で活性炭、消石灰と混合。エアーを用いて攪拌した後、フィルタープレス機により精製し、製品を貯蔵タンクに貯油する工程において、フィルタープレス機に至る送油ポンプの動力源である電動モーターの加熱によるモーター付近からの出火と推定した。A重油、活性炭、消石灰の混合物をフィルタープレスへ送り出すモーターポンプの加熱が原因と考えられる。
12月	香川県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 3,280万円	変更許可完成検査後、初めて施設を使用しての試験運転中であり、電解槽の電流を徐々に上げて300アンペアになった時に、電解槽1基の循環ポンプに異状があり、1基のみ通電を停めた。その後、2000アンペアに設定した後に洗浄塔、脱水槽及び配管部分で爆発した。電解槽で発生させた電解ガスが配管を通り、水洗塔及び脱水塔に至る過程のどこかで水素ガスが何らかの原因で爆発した。その後、2000アンペアに設定した後に洗浄塔、脱水槽及び配管部分で爆発した。電解槽で発生させた電解ガスが配管を通り、水洗塔及び脱水塔に至る過程のどこかで水素ガスが何らかの原因で爆発した。